

不適合情報

2024年1月19日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	原子炉安全の観点から見たグレード
1	3号機	中央制御室(B)系隔離弁点検後の復旧において、隔離弁4台の小容量電源盤の電源復旧を実施した際に、1台の弁開閉表示灯が点灯しないことを確認した。調査の結果、当該弁の弁駆動用電源ケーブルが未接続であったにもかかわらず、当社監理員がすべて接続完了と誤認し、弁電源の復旧を依頼したことが判明。未接続だったケーブルに損傷がないことを確認し接続・復旧済。当該事象の原因を調査し、再発防止対策を検討・徹底。	2024/01/15	-
2	5号機	高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機定例試験後の現場確認中に、当社社員が燃料配管継手部分から油(約0.8リットル)が漏れていることを確認した。燃料配管への燃料供給を停止し、漏えいが止まったことを確認するとともに公設消防へ連絡。なお、漏れた油は堰内にとどまっており、油の外部等への流出はなく、環境への影響なし。当該事象の原因を調査し修理。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態にあるため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。 【2024年1月17日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/20240117p.pdf	2024/01/16	G II

3. G III グレード 8件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	2号機	タービン建屋地下1階(管理区域)相分離母線冷却装置エリア南側壁面に、地下水と思われるしみ出しおよび水溜まり(約320cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2023/12/24	
2	3号機	軽油タンク(B)の油面計に指示不良を確認した。当該油面計を点検・修理。なお、1月1日の地震後パトロールでは動作に異常がなかったことを確認済。また、軽油量は検尺により確認できていることから、保安規定の要求については問題なし。	2024/01/02	
3	3号機	サービス建屋地下2階(管理区域)ホットラボ化学計測室出入口付近の机の下で、古いタバコの吸い殻を発見した。当該タバコを回収済。当該事象および管理区域へのタバコの持ち込み禁止を周知。	2024/01/16	
4	4号機	主変圧器ヤード地下タンク(屋外)の水位が高いにもかかわらず、警報の発生および排水ポンプが起動しないことを確認した。手動操作により排水を実施。当該事象の原因調査および水位検出スイッチを点検・清掃。	2024/01/13	
5	4号機	原子炉建屋1階(管理区域)南西二重扉の外側扉が開かないことを確認した。調査の結果、過負荷警報が発生しており、解除できないことを確認した。当該扉の使用を禁止。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、二重扉は両扉(内側・外側)とも閉状態であり、原子炉建屋の負圧機能に影響なし。	2024/01/15	
6	5号機	中央制御室において、新500kV電力ケーブル洞道排水ポンプに異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、No. 2排水ポンプの故障ランプが点灯および過電流継電器が動作していることが判明。当該ポンプを点検・修理。なお、No. 1ポンプは正常であり、排水機能に影響なし。	2024/01/14	
7	7号機	可燃性ガス濃度制御系室連絡弁(B)が、開閉表示灯が全閉表示にもかかわらず微開していることを確認した。可燃性ガス濃度制御系室搬入口扉の開閉を禁止。当該弁を点検・調整。	2024/01/12	
8	その他	大湊側焼却設備廃活性炭タンク液位指示値が、一時的に増減変動していることを確認した。調査の結果、液位検出スイッチに付着した汚れが原因と推定。当該液位計を点検・修理。	2024/01/12	